

オープンキャンパス2020で多く寄せられた質問集

オープンキャンパスで多かった質問・相談と回答をまとめました。
聞きそびれたこと、自分では思いつかなかった質問などが見つかるかもしれません。
本学の入学試験を受験予定の方は、ぜひご確認ください。

神戸芸術工科大学では、受験生の皆さんの疑問や不安を少しでも解消できるよう、
オープンキャンパス以外にもオンライン個別相談会や個別のキャンパス見学を実施しています。
新しいカタチだからこそできることを。
デザイン・アート・メディアは、現在のような変化の時代に真価を発揮します。

Q. 総合型選抜入学試験(体験型)と(面談型)の両方にエントリーすることはできますか？

回答：できます。

解説：今年度は体験型の日程が変更になったことにより、体験型の出願認定発表日が10月2日(金)となり、面談型のエントリー期間9月25日(金)～10月5日(月)と一部重なってしまいました。そのため、このご質問が増えたのではないかと思います。体験型参加後の面談型のエントリーについては、下記の2つの方法が考えられます。

一つ目は、体験型の出願認定発表の結果を待ち(10月2日発表)、出願認定が出たら面談型のエントリーはせず、出願認定が出なければ10月5日までに面談型のエントリーをするという方法です。この場合、エントリー締め切りまでの日数が短いため、調査書や志望理由書をあらかじめ用意しておいたほうが安心です。

二つ目は、体験型の出願認定を待たずに面談型のエントリーをするという方法です。面談型のエントリー後に体験型の出願認定が出た場合は、体験型で出願手続き及び入学手続きを行い、面談型は欠席してください。面談型の欠席が体験型の手続きに影響をすることはありませんので安心してください。

なお、どちらの場合も、面談型のエントリー時には改めて提出書類をそろえて提出する必要があります。つまり、調査書や志望理由書をもう一度用意しなければなりません。調査書の発行には時間がかかる場合もあるかと思しますので、早めのご用意をおすすめしています。

Q. 総合型選抜入学試験(体験型/面談型)で他大学と併願することができますか？

回答：体験プログラム/面談までは併願できます。

解説：総合型選抜入学試験(体験型/面談型)は、他大学や他の進路との併願ができない「専願」型の入試ですが、専願となるのは「出願」以降です。言い換えると、「エントリー」および「体験プログラム/面談」の段階では、併願しても問題ありません。出願手続き以降は専願となり、他大学と併願することができません。

Q. 総合型選抜入学試験(体験型)にむけてどんな準備をしたらいいですか？

回答：まずは「募集要項 2021 総合型選抜入学試験(体験型)変更版」の内容を確認してください。

解説：体験型の日程が変更になり、体験プログラムの内容や日程が一部変更となっている学科もあります。必ず、「募集要項 2021 総合型選抜入学試験(体験型)変更版」(<https://www.kobe-du.ac.jp/2020/07/70302/>)で最新情報を確認してください。そのうえで、大学が求める人物像を文章化した「アドミッションポリシー」をぜひ確認してください。

また、面談対策として、志望理由や分野に対する興味関心、入学後に学びたいこと、将来の展望、高校時代に頑張ったこと、自分のアピールポイントなどを整理しておくといと思います。なお、面談では、持参作品のほかに、自己PR資料を持参することができます。総合型選抜入学試験(体験型)は熱意や意欲、学科・コースへの適性などを評価するタイプの入試なので、ご自身を効果的にアピールできる作品や資料、その見せ方などを工夫してください。

Q. 出願認定とは何ですか？

回答：「ぜひ入学(出願)してほしい」という判定結果です。

解説：総合型選抜入学試験(体験型/面談型)では、体験プログラムや面談を通して参加者の意欲や熱意、学科・コースへの適性などを判定します。その結果、本学にぜひ入学してほしいという方に対して「出願認定」を出します。出願認定が出た人だけが、その後の出願手続きに進み、合格を手にすることができます。出願認定が出たら、期間内に出願手続きを完了することで「合格通知書」が届きます。出願の際には、出願手続き(インターネット登録及び郵送)を再度行う必要があります。期間内にきちんと手続きが完了すれば、不合格になることはありません。

なお、出願手続きをしなかったり、期間内に手続きが完了しない場合には、入学資格を失います。入学資格を失った場合や、残念ながら出願認定が出なかった場合、その後の他の入試区分で再チャレンジすることができます。特に、出願認定が出なかった場合は、あきらめずにぜひ再チャレンジしてください。自分に足りなかったものは何なのか考え、成長した姿を次の入試で見せていただけることを期待します。

Q. 留学生は総合型選抜入学試験(体験型/面談型)を受けることができますか？

回答：日本の高校を卒業した方(見込を含む)以外は、受験することができません。

解説：外国において学校教育における12年の課程を修了した者(見込を含む)は、総合型選抜入学試験(体験型/面談型)の出願資格がありません。つまり、海外の高校を卒業した人は、総合型選抜入学試験(体験型/面談型)を受験することができません。それ以外の入試区分で受験してください。日本の高校を卒業した方(見込を含む)は、国籍を問わず総合型選抜入学試験(体験型/面談型)を受験することができます。

Q. インターネット出願でも書類の郵送は必要ですか？

回答：すべての入試で郵送が必要です。インターネットだけでは完結しません。

解説：インターネットでエントリー/出願登録をした後、「インターネット志願票」をダウンロードし、その他の必要書類とあわせて郵送で提出する必要があります。「エントリー期間」や「募集期間」は、インターネットの登録締め切りではなく、出願書類を郵送する期間です。インターネットだけではエントリー/出願は完結しないので注意してください。また、必要書類の中には、調査書など、準備に時間を要するものもあります。必要書類はエントリー/出願期間にかかわらず、早めに用意するようにしてください。

Q. インターネットエントリー/出願サイトはいつから公開されますか？

回答：「エントリー/出願」ページは、出願期間の初日の0時から公開します。

解説：なお、「マイページ」については8月30日から登録していただけます。
(<https://e-apply.jp/myp/kobe-du/>)

Q. 志望理由書などの様式はどうやって入手したらいいですか？

回答：大学WEBサイト「募集要項・出願書類のダウンロード」(<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/download/>)ページからダウンロードしてください。

解説：様式はすでに公開していますので、エントリー/出願期間前でも準備することができます。なお、入試区分によって様式が異なりますので、必ず受験を希望している入試区分の様式をダウンロードしてください。

Q. 複数の入試区分を受験する場合、調査書はそのたびに必要ですか？

回答：はい、必要です。

解説：提出書類は、入試区分ごとに用意する必要があります。調査書のように、複数の入試区分に共通する提出書類も、毎回用意して提出してください。